

2026 年 6 月

北大恵迪寮寮歌の利用に関する基本的確認とお願い

北海道大学恵迪寮自治会
一般社団法人恵迪寮同窓会

本文書は、北大恵迪寮において歌い継がれてきた寮歌が、単なる個人の創作物にとどまらず、寮の歴史と共同生活の中で育まれ、世代を超えて継承されてきた文化的共有財であることを確認し、その適切な利用と伝承を求めるために公表するものである。

恵迪寮の寮歌は、寮の公式な募集および選考を経て制定され、寮生の共同生活の中で歌い継がれてきたものである。作品は当初より寮生全体で共有されることを前提として提供され、寮生活の精神的基盤を形成するものとして受け入れられてきた。

寮歌の制作過程においては、作詞・作曲者は個人として存在するものの、共同生活の環境のもとで歌い手である周囲の影響や意見を受けながら作品が形成される場合も多く、完成後は世代を越えて歌い継がれることにより、個人の創作を超えた共同体の文化として定着してきた。このような成立経緯および伝承の実態から、恵迪寮は寮歌の歴史的・文化的継承主体として自らを位置づけている。

寮歌に関する著作権の帰属およびその存続期間については、その成立経緯および利用形態の特殊性から、なお検討の余地がある事項であるが、寮歌は恵迪寮の歴史と精神を体現する重要な文化資産であり、寮がその真正性および尊厳の維持を求める立場は尊重されるべきものである。

したがって、寮歌の翻訳、編曲、多言語化、商業利用、動画配信その他の公的利用を行う場合には、法的権利の評価の如何にかかわらず、文化的継承主体としての恵迪寮の立場および寮歌の歴史的背景を尊重して行われることを求めるものである。特に、寮歌の趣旨や伝統を著しく損なう改変、または寮歌の尊厳を損なう形での利用については、恵迪寮として望ましいものではないことをここに明確にする。

恵迪寮と恵迪寮同窓会はともに、寮歌がその歴史と精神を正しく伝えつつ未来へと受け継がれることを願い、本確認を公表するものである。寮歌は単なる楽曲ではなく、歴代寮生の生活と精神の記憶を宿すものであり、その取り扱いには十分な敬意が払われることを切に望むものである。

そのため、商業配信や YouTube 等による公開その他の商業的利用を行う場合には、寮歌の歴史的背景と文化的価値に十分配慮し、実施にあたっては事前に恵迪寮との協議を経て、その了解を得ることを求めるものである。

以上